

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：第2グループホーム 愛生

作成日：平成 31年 4月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りに関しての方針を作成	御家族と看取りについて話し合っていく	延命意思確認書を元に事業所、病院、御家族と話し合いながら医療との連携を図っていく	12ヶ月
2	40	自分の家と考えた家庭らしい食卓、料理の匂い、音等や食事作りへの参加の工夫	利用者の方に料理作りに参加して頂く	事業所の食事システムでは、調理することは難しいが和え物に関してはドレッシングを混ぜたりする作業がある為、一緒に行って頂く	3ヶ月
3	2	地域住民と利用者との相互交流が図れるような取り組み	地域の方と利用者の方との交流をする	夏祭り等のイベントの際には、御家族の方にも協力して頂き昔から仲の良い方もお誘いして参加して頂く	12ヶ月
4	20	地域への外出の支援等に取組まれ、利用者の空間が広がる取り組み	地域のイベントに参加する	地域のイベント等に参加させていただきだけでなく、可能な限り利用者の方と一緒にお手伝いもさせて頂く	12ヶ月
5	23	自宅にいるような、家庭らしい自分の部屋作り	その人らしい部屋作りをする	面会に来られた際に御家族にもう一度、なじみの物を持って来て頂く様お話しする	6ヶ月
6	26	積極的な職員のケアの統一で個別的な介護計画となり、質の高いケアに繋がる取り組み	質の高いケアに繋がるようにする	ケース会議で決めた対応方法は、議事録作成までに時間を要する為、申し送り帳活用しケアを徹底していく	3ヶ月
7	1	法人の理念に添った施設理念への取り組みと、その理念がもっと職員に共有出来るケアに反映できる取り組み	理念の作成と理念に添ったケアをする	法人に添った理念を再度作成する。それと同時に介護計画にも添った理念を作成する事で、ケアに反映していく	3ヶ月
8	54	自宅の雰囲気を感じ取られ、その人らしい生活や趣味等が想像出来るような居心地の良い部屋作り	自宅の雰囲気が感じ取られるような、部屋作りをする	御家族より、自宅の物を持って来て頂く。観葉植物等、こちらで購入出来る物は利用者の方と一緒に買い物へ行き購入していく	6ヶ月
9	52	自宅を連想出来る様な雰囲気作りの工夫	自宅と感じ取れるような、フロア作りをする	病院の様な建物になっている為、季節にあった電化製品(扇風機等)や飾りつけをする	12ヶ月
10	4	社会福祉協議会との交流や活用	社会福祉協議会との交流を増やす	社会福祉協議会に季節ごとの地域の行事を聞き、参加出来る事が出来るものは参加していく	12ヶ月

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
11	5	市の相談員等からの情報を活用する事でケアの質の向上	市の相談員等からの情報を得る	介護相談員の記録を元に利用者の方とのコミュニケーションをし、更に介護相談員からの直接的な情報を得てケアに繋げていく	3ヶ月
12	10	遠距離在住の家族が半数あり、直接意見等がききにくい状況	直接連絡が出来る	遠方の御家族が多く、電話をしても出られず折り返しの電話もない時が多かった。メールでやりとりできる方は、連絡が取れない時はメールにて対応していく	3ヶ月
13	35	避難場所の再検討等で安全な避難方法の確立	避難場所を変更する	避難訓練の際に、他事業所と話し合い避難場所を検討していく	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。